

岐阜県福祉サービス第三者評価事業評価結果表

①第三者評価機関名

社会福祉法人 岐阜県社会福祉協議会

②事業者情報

名 称： 社会福祉法人同朋会 鏡島保育園	種別： 保育所
代表者氏名： 川上 城	定員（利用人数）： 150名
所 在 地： 岐阜市鏡島西1丁目3番82号	TEL 058-251-9000

③総 評

岐阜市の西部に位置する鏡島保育園は、平成15年4月、社会福祉法人同朋会が岐阜市より経営移管を受けて開園した。周辺は、清流長良川をはじめとする豊かな自然に恵まれ、近くには鏡島弘法など伝統のある地域の中での保育を行っている。

◇特に評価の高い点

- ・社会福祉法人同朋会は、保育所の他にも、高齢者・障がい者施設等を経営しており、その専門知識やノウハウなど法人としての強みを生かし、鏡島保育園では障がい児保育にも積極的に取り組まれている。
- ・「心豊かで、たくましい子どもを育てる」という保育目標のもと、養護と教育が一体となり、豊かな人間性をもった子どもの育成に取り組まれている。「職員の行動指針」は『6つのS』として明確にされ、職員会議で復唱確認するなど職員一人ひとりが常に意識している。
- ・職員配置は厚めに対応されており、内部・外部研修に積極的に参加し、職員の資質向上に努められている。また、送迎時の声かけや懇談会などでは保護者の気持ちを配慮した環境をつくり、本会が実施した保護者アンケートでも高く評価されている。
- ・地元の小中学校・大学との交流や地元機関との連携に力を入れており、年間行事を通してさまざまな表現活動を体験するとともに、地域とのつながりを深められるような機会を設けられている。
- ・未満児・障がい児の受け入れや長時間保育などのニーズにも柔軟に対応し、また「子育てサロン」を実施するなど、地域における子育て支援拠点としても積極的に取り組まれている。
- ・訪問調査時には、子ども・職員ともに元気あふれるたくさんの笑顔がみられ、保育所全体の楽しく明るい雰囲気が伝わってきた。

◇改善を求められる点

- ・中・長期計画を策定し、保育所の今後の方向性の指針として位置づけることが望まれる。
 - ・職務分掌表を作成し、職員の業務分担に偏りのないよう責任体制を確立する必要があると思われる。
- また、必要な関係法令等をリスト化し、職員で共有されると良い。岐阜市の各種マニュアルを鏡島保育園に対応したものとしてまとめ、すぐに確認できるよう整備されたい。
- ・サービス内容について、「自己評価ガイドライン」に基づいた定期的な自己評価を行い、改善に向けて取り組むことを期待する。
 - ・近隣小学校が「災害時避難施設」に指定され、防災倉庫や備品が法定整備されているが、保育所でも通常業務のストックの他に独自の備蓄が求められる。
 - ・空間的な十分な広さの確保が困難であっても、心地よく過ごせる環境となるよう“工夫”を積み重ね、子どもの最善の利益に貢献することを期待する。

④第三者評価結果に対する事業者のコメント

日常業務に追われ、気がつかない点にまで丁寧にご指導いただき、誠にありがとうございました。今後の保育園の運営に取りまして、貴重なご意見も数多く頂戴しました。評価いただいた内容を踏まえ、今後ともよりよい保育が提供できるよう努力して参りたいと思います。

⑤評価細目の第三者評価結果（別添）

評価細目の第三者評価結果

1 共通項目

評価対象 I 福祉サービスの基本方針と組織

I-1 理念・基本方針

I-1- (1) 理念、基本方針が確立されている。		第三者評価結果
	I-1- (1) -① 理念が明文化されている。	A
	I-1- (1) -② 理念に基づく基本方針が明文化されている。	A
<p>良い点/工夫されている点： 法人基本理念に「一つの命を共に生きる」と具体的に示され、保育サービスの実現を目指す「心豊かで、たくましい子どもを育てる」とあり、地域社会および保護者に対して、理解を得られやすい表現となっている。</p>		
<p>改善できる点/改善方法： 保育方針に「豊かに表現できる子・思いやりのある子・元気な子」を掲げられているので、全職員にとって日常業務における「職員行動規範」となることを期待したい。</p>		
I-1- (2) 理念や基本方針が周知されている。		
	I-1- (2) -① 理念や基本方針が職員に周知されている。	A
	I-1- (2) -② 理念に基本方針が利用者等に周知されている。	B
<p>良い点/工夫されている点： 職員や保護者には、パンフレット・ホームページ等で周知されている。「6つのS」として、職員のあるべき姿がわかりやすい単語で具体的に示されており、職員会議で復唱確認するなど常に意識されている。</p>		
<p>改善できる点/改善方法： 本調査における保護者向けアンケートでは、「理念・方針を理解した」との回答が全体の65%であった。保育所としては大変努力されているが、理解度UPに向け、今一度、周知方法を検討する必要がある。</p>		

I-2 事業計画の策定

I-2- (1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。		第三者評価結果
	I-2- (1) -① 中・長期計画が策定されている。	C
	I-2- (1) -② 中・長期計画を踏まえた事業計画が策定されている。	C
<p>良い点/工夫されている点： 法人本部で策定されていると思われるが、資料がなく保育所での確認はできない。</p>		
<p>改善できる点/改善方法： 中・長期計画に関しては、保育所にとっての今後の方向性の指針となるため、認定こども園への移行を含め、策定されることが望まれる。</p>		
I-2- (2) 事業計画が適切に策定されている。		
	I-2- (2) -① 事業計画の策定が組織的に行われている。	B
	I-2- (2) -② 事業計画が職員に周知されている。	A
	I-2- (2) -③ 事業計画が利用者等に周知されている。	A

<p>良い点／工夫されている点： 事業計画の策定には職員も参画し、自覚を持って対応されている。単年度の事業計画は、8項目からなり実施されているのが確認できた。今回のアンケートにおいて「事業計画の説明を理解した」と保護者の78%が回答している。</p>
<p>改善できる点／改善方法： 事業計画に関しては、全職員の参画や意見の集約等で反映される仕組みを定め、また、保護者等の意見をふまえた上で計画作成し、職員や保護者間で共有されることを期待する。</p>

I-3 管理者の責任とリーダーシップ

I-3-(1) 管理者の責任が明確にされている。		第三者評価結果
	I-3-(1)-① 管理者自らの役割と責任を職員に対して表明している。	A
	I-3-(1)-② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	C
<p>良い点／工夫されている点： 年度当初、理事長も含めた全職員で自らの役割・責任を明らかにしている。管理者は、今後の課題に関しても把握されており、以降も期待できる。</p>		
<p>改善できる点／改善方法： 職務分掌表を作成し、組織の要とすることが望まれる。保育所で必要な法令・省令・通達等のリスト化を行い、職員で共有されると良い。</p>		
I-3-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。		
	I-3-(2)-① 質の向上に意欲を持ちその取組に指導力を発揮している。	A
	I-3-(2)-② 経営や業務の効率化と改善に向けた取組に指導力を発揮している。	B
<p>良い点／工夫されている点： 園長自ら朝7時に子どもを出迎え、声かけをする等「良質かつ適切な児童福祉サービスを提供するよう努められている」ことが見受けられ、指導力を発揮することで管理職としての責務が果たされている。 管理者として保育所の良さや課題を正しく理解し、保育の質の向上に向けて、新システムの導入等により職員の事務の省力化をされている。</p>		
<p>改善できる点／改善方法： 自己評価ガイドラインにおける「保育所の自己評価」を行い、効率化と改善に向けた具体的な取り組みを必要とする。</p>		

評価対象Ⅱ 組織の運営管理

Ⅱ-1 経営状況の把握

Ⅱ-1-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。		第三者評価結果
	Ⅱ-1-(1)-① 事業経営をとりまく環境が的確に把握されている。	A
	Ⅱ-1-(1)-② 経営状況を分析して改善すべき課題を発見する取組を行っている。	B
	Ⅱ-1-(1)-③ 外部監査が実施されている。	A

<p>良い点／工夫されている点： 法人での経営分析会議結果は職員に周知されている。コスト分析や在園児の推移等の分析が実施されていることが確認できた。藤垣会計事務所による外部監査が実施されている。</p>
<p>改善できる点／改善方法： 中・長期計画における位置づけは不透明であるものの、課題については、管理者・職員ともに意識し、業務改善に向けた取り組みが望まれる。</p>

Ⅱ－２ 人材の確保・養成

Ⅱ－２－（１） 人事管理の体制が整備されている。		第三者評価結果
	Ⅱ－２－（１）－① 必要な人材に関する具体的なプランが確立している。	A
	Ⅱ－２－（１）－② 人事考課が客観的な基準に基づいて行われている。	A
<p>良い点／工夫されている点： 人事に関しては、法人で実施されており、現在当園では基準配置人員を超えた配置がされている。人事考課は、人事考課規程に基づく「成績考課・能力考課・情意考課」により、公正・客観的に実施されている。</p>		
改善できる点／改善方法：		
Ⅱ－２－（２） 職員の就業状況に配慮がなされている。		
	Ⅱ－２－（２）－① 職員の就業状況や意向を把握し必要があれば改善する仕組みが構築されている。	A
	Ⅱ－２－（２）－② 職員の福利厚生や健康の維持に積極的に取り組んでいる。	A
<p>良い点／工夫されている点： 就業状況の把握や定期健康診断など、職員にとって働きやすい環境になるよう配慮されている。有給休暇取得を奨励し、管理者自ら範を示されている。また、福利厚生センターに加入する等、福利厚生事業を積極的に取り入れ、職員の余暇活動や日常生活に対するサポートをしている。</p>		
改善できる点／改善方法：		
Ⅱ－２－（３） 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。		
	Ⅱ－２－（３）－① 職員の教育・研修に関する基本姿勢が明示されている。	A
	Ⅱ－２－（３）－② 個別の職員に対して組織としての教育・研修計画が策定され計画に基づいて具体的な取組が行われている。	A
	Ⅱ－２－（３）－③ 定期的に個別の教育・研修計画の評価・見直しを行っている。	A
<p>良い点／工夫されている点： 保育技術向上に向けて、内部・外部研修への積極的な参加による職員間で学びあう体制ができている。研修後には、報告レポートを職員全員に回覧する等して参考点を取り入れ、保育所の活性化へつなげられている。</p>		
改善できる点／改善方法：		
Ⅱ－２－（４） 実習生の受入れが適切に行われている。		第三者評価結果
	Ⅱ－２－（４）－① 実習生の受入れと育成について基本的な姿勢を明確にした体制を整備し、積極的な取組をしている。	A

<p>良い点／工夫されている点： 「保育実習・看護学生実習マニュアル」が整備されており、管理者は、次世代の児童福祉職員育成に対する熱意ある積極的な姿勢が見受けられる。</p>
<p>改善できる点／改善方法：</p>

Ⅱ－３ 安全管理

3－（１） 利用者の安全を確保するための取組が行われている。	第三者評価結果
Ⅱ－３－（１）－① 緊急時（事故、感染症の発生時など）における利用者の安全確保のための体制が整備されている。	A
Ⅱ－３－（１）－② 災害時に対する利用者の安全確保のための取組を行っている。	B
Ⅱ－３－（１）－③ 利用者の安全確保のためにリスクを把握し対策を実行している。	A
<p>良い点／工夫されている点： 管理規程の中で健康・衛生・安全管理の基本的事項を定め、安全管理マニュアル及び防災マニュアルのもと具体的な安全確保の取組を示している。これに対する職員の役割・体制を明確にし、発生時対策や保護者への対応等を講じ、定期的に避難訓練などを実施している。 保護者へはインターネットを利用したサービス「園ぴゅう太」を活用し、情報提供や子どもの安全確認などを行っている。 ヒヤリハット・事故報告は職員に周知し検証に努めると共に、定期的に保育所内設備等の安全点検を実施している。なお、当方アンケートでは「保育中の発熱やケガなどの措置、保護者への連絡など体調変化への対応は十分ですか？」に対し、「十分対応されている」「どちらかと言えば対応されていると思う」が94%を占めている。</p>	
<p>改善できる点／改善方法： 災害時への備えとして、市が指定する災害時避難施設（近隣小学校）の活用や通常業務のストックはあるが、子どもたちの実態に即した独自の備蓄が求められる。 ヒヤリハット・事故報告は体系的に整理・分析し、更なる事故防止に繋がることを期待する。</p>	

Ⅱ－４ 地域との交流と連携

Ⅱ－４－（１） 地域との関係が適切に確保されている。	第三者評価結果
Ⅱ－４－（１）－① 利用者と地域とのかかわりを大切にしている。	A
Ⅱ－４－（１）－② 事業所が有する機能を地域に還元している。	A
Ⅱ－４－（１）－③ ボランティア受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	B
<p>良い点／工夫されている点： 地域と保育所との行事の相互参加、小学1年生の運動会などへの招待、中学3年生の保育体験、小学校職員と保育所職員との交流、民生委員・児童委員への行事案内などを通し地域との関わりを深めている。 一時預かり事業（昨年実績607人）、未就園の幼児・親子の園体験、園庭開放、講演会への講師派遣、「元氣子育てサロン」の実施など地域の子育て拠点として期待に答えている。 地域食生活改善協議会とタイアップした食育事業「キッズトントン」は、年中行事として定着している。</p>	

改善できる点／改善方法：
「保護者サポーター募集」を呼びかけているが、更に保護者や地域と連携した継続的なボランティア活動の実現に向け、職員体制・マニュアル等の整備を期待する。

Ⅱ－４－（２） 関係機関との連携が確保されている。	第三者評価結果
Ⅱ－４－（２）－① 必要な社会資源を明確にしている。	A
Ⅱ－４－（２）－② 関係機関との連携が適切に行われている。	B

良い点／工夫されている点：
地域の社会資源である関係機関・団体等を、危機・事故、医療・保健、教育ごとにリスト化し、職員の誰でもが速やかに対応出来る体制を整え、必要に応じて保護者へ情報提供もしている。
市の若者子どもセンター、幼児支援教室、児童相談所、小学校、民生委員・児童委員等とは、常に相互で連携が取れる体制を確立している。

改善できる点／改善方法：
関係機関との連携が密に行われている中で、定期的な連絡会等の開催を期待する。

Ⅱ－４－（３） 地域の福祉向上のための取組を行っている。	第三者評価結果
Ⅱ－４－（３）－① 地域の福祉ニーズを把握している。	B
Ⅱ－４－（３）－② 地域の福祉ニーズに基づく事業・活動が行われている。	A

良い点／工夫されている点：
ニーズの把握は、地域行事への参加、保護者との懇談、民生委員・児童委員との定期交流会及び市行政等を通して行っている。
長時間保育、一時保育、子育て相談及び未就児の親子保育所体験など、地域子育て支援拠点として積極的に活動している。

改善できる点／改善方法：
保育所は郊外から市街地に入る場所に位置するため、地元校区のほか他校区から通う子どもも多く多様なニーズが考えられる。地域に向けたアンケートを実施する等、更なるニーズの把握を期待する。

評価対象Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

Ⅲ－１ 利用者本位の福祉サービス

Ⅲ－１－（１） 利用者を尊重する姿勢が明示されている。	第三者評価結果
Ⅲ－１－（１）－① 利用者を尊重したサービス提供について共通の理解をもつための取組を行っている。	A
Ⅲ－１－（１）－② 利用者のプライバシー保護に関する規程・マニュアル等を整備している。	A

良い点／工夫されている点：
基本理念のもと保育目標、保育方針を明確にしている。職員は、法人としての職員行動指針である「6つのS」を毎朝朗読し、また、事例研究・発表会など定期的な内部研修会を通して、子ども一人ひとりを尊重する姿勢を高めている。
法人は「個人情報に関する基本方針」を定め、保育所は「個人情報の取り扱いマニュアル」を整えており、職員への周知徹底を図っている。併せて、保護者等に対し「プライバシーポリシー」を示すことで、常に内容を見直し改善に努める姿勢を明確にしている。

改善できる点／改善方法：

Ⅲ－１－（２） 利用者満足の向上に努めている。		第三者評価結果
	Ⅲ－１－（２）－① 利用者満足の向上を意図した仕組みを整備し、取組を行っている。	B
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>保護者会や個別懇談会、意見箱のほか、第三者評価の「保護者向けアンケート」を通して意見・要望を把握し、必要に応じて改善等に繋げている。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：</p> <p>定期的に保護者アンケートなどを計画し、保育全般にわたり保護者の意向等が把握できるような工夫を期待する。</p>		
Ⅲ－１－（３） 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。		第三者評価結果
	Ⅲ－１－（３）－① 利用者が相談や意見を述べやすい環境を整備している。	B
	Ⅲ－１－（３）－② 苦情解決の仕組みが確立され十分に周知・機能している。	A
	Ⅲ－１－（３）－③ 利用者からの意見等に対して迅速に対応している。	A
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>意見箱の設置、送迎時の積極的な言葉かけ、懇談会、随時の相談など保護者の気持ちに配慮した環境づくりに努めている。意見・要望・苦情に対しては、責任者・受付担当者・第三者委員を明示し、真摯に受け止める体制を整え保護者への周知に努めている。また、法人内に委員９名からなる「サービス点検調整委員会」を設置し、子どもの権利擁護を公正かつ適切に遂行する取組みを確立している。</p> <p>当方アンケートの「お子さんの気持ちや様子・子育てなどについて、保育者（職員）と情報交換したり相談することができますか？」では、「十分できると思っている。どちらかといえばできると思っている」が９６％を占めている。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：</p> <p>保育相談・懇談など専用の部屋の設置は難しく、ホールや職員室を活用しているため、衝立を設けるなど保護者の気持ちに配慮した工夫が求められる。</p>		

Ⅲ－２ サービスの質の確保

Ⅲ－２－（１） 質の向上に向けた取組が組織的に行われている。		第三者評価結果
	Ⅲ－２－（１）－① サービス内容について定期的に評価を行う体制を整備している。	B
	Ⅲ－２－（１）－② 評価結果に基づき組織として取り組むべき課題を明確にし、改善策・改善実施計画を立て実施している。	B
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>サービス提供に対する第三者評価、職員による自己評価等により課題を見つけ、定期的に職員全体会議を通して検討する体制を整えている。保育内容などの評価は、PDCAのサイクルにより改善に努めている。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：</p> <p>「自己評価ガイドライン」に基づく自己評価を定期的実施し、自己評価・第三者評価結果の保護者・地域への情報提供・公表の構築を期待する。</p>		
Ⅲ－２－（２） 提供するサービスの標準的な実施方法が確立している。		第三者評価結果
	Ⅲ－２－（２）－① 提供するサービスについて標準的な実施方法が文書化されサービスが提供されている。	A
	Ⅲ－２－（２）－② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	B

<p>良い点／工夫されている点： 指導計画、個別指導計画等は目標・業務手順など保育全般にわたり文書化され、一貫性のある保育の確保と職員体制を整えている。また、見直しにあたり職員、保護者の提案・意見、地域の実態などを反映させる取り組みを行っている。</p>	
<p>改善できる点／改善方法： 保育計画等の策定にあたっては、地域の実態、子どもや家庭の状況などを考慮し、更なる創意工夫を期待する。</p>	
<p>Ⅲ－２－（３） サービス実施の記録が適切に行われている。</p>	
Ⅲ－２－（３）－①	利用者に関するサービスの実施状況の記録が適切に行われている。
Ⅲ－２－（３）－②	利用者に関する記録の管理体制が確立している。
Ⅲ－２－（３）－③	利用者の状況等に関する情報を職員間で共有化している。
<p>良い点／工夫されている点： 管理規程の中で基本的な文書の取り扱いと保存期間を定めている。各種の保育の記録は所要の様式により書き方を統一し、記録・整理している。 子どもの状況は、常に職員に正確に伝わる仕組みを確立し、ケース会議などに反映出来るよう情報の共有を図っている。個人情報の保護等は、「個人情報に関する基本方針」及び「個人情報の取扱いマニュアル」により対応している。</p>	
<p>改善できる点／改善方法： 子どもの記録の保管・保存・廃棄は責任者を置き、電子データを含めた管理体制の確立が求められる。</p>	

Ⅲ－３ サービスの開始・継続

<p>Ⅲ－３－（１） サービス提供の開始が適切に行われている。</p>	
Ⅲ－３－（１）－①	利用希望者に対してサービス選択に必要な情報を提供している。
Ⅲ－３－（１）－②	サービスの開始にあたり利用者等に説明し同意を得ている。
<p>良い点／工夫されている点： 保護者が希望に沿った保育所を選択する資料として、市が作成した「保育所・幼稚園等入所案内」及びホームページにより情報を提供している。「入園のしおり」は、理念、保育目標、方針を掲げ、保育所生活を体系的にイラストや表などを使用し分かり易く紹介している。 利用の説明にあたっては、「運営についての重要事項に関する規程」のもと、保育サービスや料金等を具体的に記載した資料を活用している。入園説明・手続きは複数職員で対応し、説明後に同意を得ている。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	

<p>Ⅲ－３－（２） サービスの継続性に配慮した対応が行われている。</p>	
Ⅲ－３－（２）－①	事業所の変更や家庭への移行などにあたりサービスの継続性に配慮した対応を行っている。
<p>良い点／工夫されている点： 保育所等の変更や保育の終了にあたり、保育所児童保育要録などを転園先・入学先に引き継がれている。引き継ぎ後も保育の継続性に配慮し、保育状況など電話等でも相談を受ける体制を整えている。また、卒園児や保護者を夏祭りや運動会等に招き、コミュニケーション作りに努めている。</p>	

改善できる点／改善方法：

Ⅲ－４ サービス実施計画の策定

Ⅲ－４－（１） 利用者のアセスメントが行われている。	第三者評価結果
Ⅲ－４－（１）－① 定められた手順に従ってアセスメントを行っている。	A
<p>良い点／工夫されている点： 入園にあたり、保護者からの聞き取りや家庭調査記録等により子どもや保護者の生活状況などを把握し、事前評価のもと児童票、個別指導計画に反映させている。また、毎年度5月、9月に評価し、個別懇談を通して計画の見直しを行っている。</p>	
改善できる点／改善方法：	

Ⅲ－４－（２） 利用者に対するサービス実施計画が策定されている。	第三者評価結果
Ⅲ－４－（２）－① サービス実施計画を適切に策定している。	A
Ⅲ－４－（２）－② 定期的にサービス実施計画の評価・見直しを行っている。	A
<p>良い点／工夫されている点： 個別サービスの実施計画は長期的・短期的指導計画を踏まえ、担当者案をクラスリーダー会議及び全職員会議で検討・策定する体制を確立している。計画は定期的に又は随時見直しを行い、子ども一人ひとりに着目した指導計画を策定する取組みを行っている。その他、「園だより」、「クラスだより」を毎月発行し、保育目標や行事計画等の情報発信を行い保護者理解に努めている。</p>	
改善できる点／改善方法：	

評価対象Ⅳ 保育所保育の基本

Ⅳ－１ 養護と教育の一体的展開

	第三者評価結果
Ⅳ－１－（１） 保育所の保育の方針や目標に基づき、発達過程を踏まえ、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に即した保育課程を編成している。	A
<p>良い点／工夫されている点： 保育所の方針や目標に基づき、また子どもの発達過程をきちんと捉え、保育課程が編成されている。見直しは、毎月のリーダー会で集約される職員の意見等に基づき、毎年度末行われている。</p>	
改善できる点／改善方法：	
Ⅳ－１－（２） 乳児保育のための適切な環境が整備され、保育の内容や方法に配慮されている。	A
<p>良い点／工夫されている点： 子どもと保育者の一対一の関わりを重視し、優しさときめ細かな配慮に基づく保育を行っていることが感じ取れた。</p>	
改善できる点／改善方法： 保護者への子育てアドバイスの内容・方法については、さらなる研鑽を積まれることを期待する。	
Ⅳ－１－（３） 1・2歳児の保育において養護と教育の一体的展開がされるような適切な環境が整備され、保育の内容や方法に配慮されている。	B

<p>良い点／工夫されている点： やや空間に狭さを感じるものの、穏やかでゆったりと過ごす雰囲気を醸し出している。</p>	
<p>改善できる点／改善方法： 室内空間が少し閑散としている感じがする。動きが徐々に活発になりつつあるこの時期の子どもの特性は、何より探索的興味に基づく学習意欲である。必ずしも十分なスペースを確保できなくても、ちょっとした工夫で好ましい環境を提供できることから検討されたい。</p>	
<p>IV-1-(4) 3歳以上児の保育において養護と教育の一体的展開がされるような適切な環境が整備され、保育の内容や方法に配慮されている。</p>	A
<p>良い点／工夫されている点： 指導計画の中で考えが明確にされており、活動が適切に仕組まれている。現代の生活環境は、必ずしも子どもの全面発達に寄与するものばかりではないため、常に育ちと環境を見つめ、より良い内容が提供できるよう、今後ともより一層検証されたい。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	
<p>IV-1-(5) 小学校との連携や就学を見通した計画に基づいて、保育の内容や方法、保護者とのかわりに配慮されている。</p>	A
<p>良い点／工夫されている点： 様々な場・方法を駆使し、共通理解のための努力がなされている。とりわけ保育所職員と小学校教員との交流は、保育内容改善への効果が期待できる。就学に際して保護者の不安を払拭できるよう、実績をふまえた上で自信を持って伝えることが望ましい。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	

IV-2 環境を通して行う保育

	第三者評価結果
<p>IV-2-(1) 生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできるような人的・物的環境が整備されている。</p>	B
<p>良い点／工夫されている点： 空間的な広さの確保の困難さを除けば、物理的環境の改善はよく行われている。今後も怠らず見直しが継続されることを期待する。</p>	
<p>改善できる点／改善方法： 物理的環境は与えられたもので仕方がないと考えがちであるが、“ちょっとした工夫”を積み重ねていくことも重要な保育活動であると考え、より一層の努力を期待する。</p>	
<p>IV-2-(2) 子どもが基本的な生活習慣を身につけ、積極的に身体的な活動ができるような環境が整備されている。</p>	A
<p>良い点／工夫されている点： 子どもたちが思い切り遊ぶことができるよう、場所使用に時間差をつけるなどして、園庭を有効に利用している。さらには近隣の児童公園、長良川の堤防に出かけるなど、保育の積極的な姿勢が感じ取れる。トイレの改修が進み、気持ちの良い環境の中で基本的な生活習慣形成支援が行われている。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	
<p>IV-2-(3) 子どもが主体的に活動し、様々な人間関係や友だちとの協同的な体験ができるような人的・物的環境が整備されている。</p>	B

<p>良い点／工夫されている点： 夏祭りや12月に行われる“お店屋さんごっこ”などの行事では、主体的活動や異年齢児交流の機会がよく配慮されている。</p>	
<p>改善できる点／改善方法： 子どもの発達の影響は、同年齢児とともに異年齢児からも多く受けるが、今日の少子化状況を顧みれば、間欠的な取り組みだけでは不十分であるため、日常的な取り組みができるよう保育計画を再検討されたい。</p>	
<p>IV-2-(4) 子どもが主体的に身近な自然や社会とかかわれるような人的・物的環境が整備されている。</p>	B
<p>良い点／工夫されている点： 長良川堤防や法人の所有する畑地の使用など、様々な地理的環境を有効に利用し、子どもの多面的な経験領域拡大への姿勢がうかがえる。</p>	
<p>改善できる点／改善方法： 保育所は岐阜市市街地の外れに位置するが、通園児生活地域は、中心市街地から近郊地までと幅広く、またその社会的状況は、公共交通のよく整備された地域からやや外れた場所までと幅広く分布する。従ってこの領域の取り組みは、こうした状況をよく把握したうえで行われることが望まれる。</p>	
<p>IV-2-(5) 子どもが言葉豊かな言語環境に触れたり、様々な表現活動が自由に体験できるような人的・物的環境が整備されている。</p>	A
<p>良い点／工夫されている点： 言語環境の整備は、保育内容の根幹をなすものでありよくなされていると推察されるが、絵本・紙芝居の読み聞かせ、音楽表現、制作活動などその支援の在り方は奥深いものであり、今後ともより一層の研鑽を期待する。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	

IV-3 職員の資質向上

<p>IV-3-(1) 保育士等が主体的に自己評価に取り組み、保育の改善が図られている。</p>	第三者評価結果 B
<p>良い点／工夫されている点： 自己評価は定期的に実施されている。</p>	
<p>改善できる点／改善方法： 自己評価は実施されているが、それに基づく保育課程・内容の改善への取り組み任意であり、仕組みとして整えられていないため、検討課題である。</p>	

評価対象V 子どもの生活と発達

V-1 生活と発達の連続性

<p>V-1-(1) 子ども一人ひとりを受容し、理解を深めて働きかけや援助が行われている。</p>	第三者評価結果 A
<p>良い点／工夫されている点： 子どもの話や訴えなどは忙しくても後回しにしないなど、職員は子どもの心を大切にする基本的構えが備わっている。</p>	
<p>改善できる点／改善方法： 子どもの理解・受容は様々な育ち、背景により複雑な様相を呈していることを考慮し、自身の実践記録、振り返りを基にさらなる研鑽を積むことを期待する。</p>	

V-1-(2) 障害のある子どもが安心して生活できる保育環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる。	A
<p>良い点／工夫されている点： 専門機関からの指導・援助を受けるだけでなく、内部研修や、法人全体での事例研究活動発表会その他研修会にも積極的に参加をし、子どもにとってのより良い保育活動に尽力している。</p>	
<p>改善できる点／改善方法： 実践記録とその振り返りを大切に、積極的な受け入れ、安心できる環境整備に尽くすことを期待する。</p>	
V-1-(3) 長時間にわたる保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる。	A
<p>良い点／工夫されている点： 延長保育で職員は、少人数であることの良さを、子どもと共に体感しようとする気持ちで相対している。こうした職員によって、何より、子どもの安心は担保されているものと考えられる。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	

V-2 子どもの福祉を増進することに最もふさわしい生活の場

V-2-(1) 子どもの健康管理は、子ども1人ひとりの健康状態に応じて実施している。	第三者評価結果
	A
<p>良い点／工夫されている点： 岐阜市の作成する『安全管理マニュアル』に基づき実施しているという事であり、現場においても注意深く対応がなされている。特別な疾患の子どもを受け入れた時は、十分な研修を実施し、全職員で共有されることが望まれる。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	
V-2-(2) 食事を楽しむことができる工夫をしている。	B
<p>良い点／工夫されている点： 野菜を栽培し親子クッキングをしたり、小学校の家庭科室で行われる『地域キッズトントン』への参加など、食生活に関心を高める取り組みがなされている。</p>	
<p>改善できる点／改善方法： 調理室は中が見やすい広い窓が廊下側に設置されているが、意図的な見学はなされていないようである。また調理員や栄養士と言葉を交わす機会も極めて乏しいようであるが、食生活は子どもの発達の基幹をなすものであることを十分理解し、子どもへの学習の場を提供することが望まれる。また、異年齢児給食交流の実施も検討されたい。</p>	
V-2-(3) 乳幼児にふさわしい食生活が展開されるよう、食事について見直しや改善をしている。	B
<p>良い点／工夫されている点： 週1回程度、様々な手作りおやつが用意されている。また、破損の心配を抱えつつも陶器の食器を使用し、幼い子どもへの温かな配慮を感じることができた。</p>	
<p>改善できる点／改善方法： 岐阜市の献立メニューに沿って調理されるとのことであるが、現場からの意見を届け、献立に反映させるため、給食委員会の設置や栄養士の巡回要請を行う等再考されたい。</p>	
V-2-(4) 健康診断・歯科健診の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている。	A

<p>良い点／工夫されている点： 健康診断・歯科検診の結果は職員が十分把握をし、保育の中で生かそうとする姿勢がうかがい知れた。とりわけ月 1 回開催の『げんき会』や歯磨き指導での、保育士・看護師の関与は良い方向性を保たれている。</p>
<p>改善できる点／改善方法：</p>

V-3 健康及び安全の実施体制

V-3-(1) アレルギー疾患、慢性疾患等をもつ子どもに対し、主治医からの指示を得て、適切な対応を行っている。	第三者評価結果 A
<p>良い点／工夫されている点： 特別な疾患の子どもに対して確かな認識を持ち、適切な対応がなされている。また、大変難しい部分もあるが、他の子どもたちとの相違に対する配慮もよく努力されている。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	
V-3-(2) 調理場、水周りなどの衛生管理が適切に実施され、食中毒等の発生時に対応できるような体制が整備されている。	B
<p>良い点／工夫されている点： 「岐阜市保育所給食マニュアル」に基づき対応をしている。</p>	
<p>改善できる点／改善方法： 担当部署が明確ではなく、見直し・検討会などの開催も不明確である。衛生管理に関わる大切な取り組みであり、早急な整備を期待する。</p>	

評価対象VI 保護者に対する支援

VI-1 家庭との緊密な連携

	第三者評価結果
VI-1-(1) 子どもの食生活を充実させるために、家庭と連携している。	B
<p>良い点／工夫されている点： 家庭に対しては、通常のお知らせとともに、祖父母参観での会食や親子クッキング等エポックメーカー的な取り組みがなされている。</p>	
<p>改善できる点／改善方法： 当保育所においても、朝食をとらず来園する子どもは多く存在するようである。解決への道は困難かと思われるが、子どもの成長・発達にとってこのことがいかに不適切であるかを踏まえ、保護者とともに強力な取り組みをされたい。</p>	
VI-1-(2) 家庭と子どもの保育が密接に関連した保護者支援を行っている。	B
<p>良い点／工夫されている点： 送迎時を中心に受けた保護者からの相談内容は記録として残し、大きな問題があれば職員会の議題にのせられている。</p>	
<p>改善できる点／改善方法： 相談記録としてはまとめられていないため、保育士が専門家として指導助言ができるよう体制を整え、子どもの最善の利益に貢献することを期待する。</p>	
VI-1-(3) 子どもの発達や育児などについて、懇談会などの話し合いの場に加えて、保護者と共通の理解を得るための機会を設けている。	A

<p>良い点／工夫されている点： 保育活動の様子や考えは、写真の掲示、園だよりクラスだよりなどを通じ、また口頭でもよく伝えられている。若い職員の保護者との関係構築を助けるため、各リーダーが指導・支援をする態勢が整えられている。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	
<p>VI-1-(4) 虐待に対応できる保育所内の体制の下、不適切な養育や虐待を受けていると疑われる子どもの早期発見及び虐待の予防に努めている。</p>	<p>A</p>
<p>良い点／工夫されている点： 「虐待マニュアル」は整えられており、対応の方法も確立している。虐待は、思わぬところから、また知らず知らずのうちに発生する可能性があるため、研修を怠らず、常に注意深く子どもの見守りを続けていただきたい。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	

評価対象Ⅷ 個別サービス着眼点（岐阜県独自項目）

Ⅶ-1 安全管理面でのサービス

<p>Ⅶ-1-(1) 外部からの侵入に対する対応策がとられている。</p>	<p>第三者評価結果 A</p>
<p>良い点／工夫されている点： 市が策定する「不審者の侵入時の対応する安全管理マニュアル」に基づき、侵入の備え、確認の流れ行動など職員体制を確立し、定期的に不審者対応訓練を行っている。また、関係機関、近隣学校、近隣住民と連携し通報など協力体制を整えている。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	

Ⅶ-2 保護者とのコミュニケーション

<p>Ⅶ-2-(1) 保護者の保育参加を促すような工夫をしている。</p>	<p>第三者評価結果 A</p>
<p>良い点／工夫されている点： 年間行事予定表、毎月発行の園・クラスだよりにより情報提供に努め、行事に参加できなかった保護者に対しては、送迎時に写真や口頭で状況を伝えるなど配慮を行っている。当方のアンケートの「保護者が参加しやすいよう、行事日程が配慮されていますか？」に対し、「十分配慮されていると思う。」[どちらかと言えば配慮されていると思う]が92%を占めている。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	

<p>Ⅶ-2-(2) 保護者会組織等への活動の援助や意見交換を行っている。</p>	<p>第三者評価結果 A</p>
<p>良い点／工夫されている点： 保護者会は規約を定め活動している。保育所は保護者会の行事（人形劇鑑賞会・ふれあい動物園など）に対し全面的に協力し、コミュニケーションの構築に配慮している。</p>	

改善できる点／改善方法：

Ⅶ－３ 保育所・幼稚園・小学校との連携

Ⅶ－３－（１） 保育所・幼稚園・小学校との連携した取組を行っている。	第三者評価結果
A	
良い点／工夫されている点： 地元小学校が定期的を開催する「小学校・保育園・幼稚園との情報交換会」に参加し、相互に連携する体制にある。また、地元小学校との交流、年長児の就学前の学校参観、職員による卒園児の授業参観など連携・交流を盛んに行っている。子どもの就学先は、地元小学校区のほか近隣６校区にまたがるため、常に連携を密にした運営に努めている。	
改善できる点／改善方法：	